

児童館と地域組織活動(中野母親クラブ)による 地域の子育て連携について

兵庫県篠山市〈人権推進課〉

●地域の状況

【人口】 44,629人 (うち就学前児 2,261人・小学生 2,211人)

【世帯数】 16,742世帯

【概況】 「デカンショのふるさと丹波ささやま」で知られている兵庫県中東部に位置する篠山市は、京都府、大阪府に隣接し、古来より京都への交通の要として栄えてきた歴史があり、京文化の影響を色濃く残している城下町でもある。また農地や山林も多く、自然環境に恵まれた緑の多い地域である。

一方、JR 福知山線の複線電化と舞鶴若狭自動車道の開通により、大阪や阪神間へのアクセスは1時間圏内となっている。

市内の人口は、少子高齢化の進展により減少傾向にあり、核家族化も進んでいるところであるが、子育てをサポートする子育てふれあいセンター等の公共機関は各地域にあり充実している。

●具体的な母親クラブ等の地域組織活動の内容

○公園の遊具等の安全点検活動

地域の公園の遊具の安全点検活動を実施し、その結果を関係機関に通知している。

2005年には厚生労働省の補助を受けた篠山市の委託で、「地域の安全に関するモデル事業」の指定を受けて実施し、活動の様子がビデオに収録され全国の関係機関に配布された。

「守りませ！子どもの未来」中野母親クラブの挑戦

(2006年7月 仙台市で開催された大会で上映)

○地域交流夏まつり

児童館のある校区を対象に毎年開催しており、250人前後の参加者が、様々なブースで和やかな雰囲気を楽しんでいる。

(「夜店ごっこ」として、くじ引き、ヨーヨーつり、カレーやさん、製作コーナー、ポン菓子やさん、などを設置)



(夏まつりみんなでダンス、篠山市のマスコットキャラクター「まるいの」)

○動く児童館「子供キャンプ」体験学習

丹波篠山猪村にて、「飯ごう」でお米を炊いたり、大はしゃぎして川遊びを楽しんでいる様子が「街かどりポート」の取材を受けた。(広報 丹波篠山 NO,149 掲載)

○親子クッキング

篠山市地域活動栄養士会の方を講師に招き、自分たちで調理した物をおいしく、楽しく食べることを通じ、親子で食育の大切さを学んだ。

○生涯学習フェスティバル

地域文化祭「四季の森」会館にて会員の作品を展示した。

○冬のお楽しみ会

三世代交流事業として、地域の子供とその保護者や老人会の協力により、「お餅つき」や「昔遊び」、「おもちゃづくり」などを体験した。



(冬のお楽しみ会 館前のひろばでお餅つき)

○人形劇団「つくしんぼ」

人形劇、お話、紙芝居、手品等を児童館にて開催するほか、地域の子育てサ

一クル、保育園、幼稚園等からの依頼を受け、季節行事などに出前で出演し、子育て支援を図った。



人形劇団「つくしんぼ」(児童館での公演)

●母親クラブ等の地域組織活動と関係機関との連携

○児童館との連携

年間を通じて、児童館事業に母親クラブ会員の協力が得られていることから、会員との間で情報を共有化でき、連携強化を図る事ができている。

○地域の保育園、幼稚園、小学校等との連携

小学校等から、地域交流事業などの開催の案内について、園児、児童等全員への配布の協力を得ている。

このことにより、児童館事業が児童やその保護者、祖父母など地域の誰もが参加し、人と人の交流が出来る場となっている。

○老人会との事業協力

核家族化が進み、縦年齢の交流の機会が少なくなり、昔からの行事も廃れていく中、美化作業や児童館事業を交流の場として高齢者にも参加頂き、地域の伝統文化を直接伝えていただく機会となっている。

○兵庫県丹波県民局との連携

児童館では、「まちの子育てひろば」(親子が気軽に集い、悩みを話し合ったり、子育ての情報交換ができる等の身近な場))を開設し、ひろばアドバイザーさんを招き、子育てサークル団体を支援している。

○青少年健全育成会味間校区との連携

教育機関の保、幼、小、中学校、並びに自治会、警察等の各団体代表者の一員として中野母親クラブ会員が味間校区の会に参加し、公園の遊具点検、子育てサポート等の取り組みや活動報告を行っている。

このことにより、各団体との交流が深まり、関係団体との連携や協力体制を構築でき、母親クラブとして地域において活動しやすい状態にある。

●市として母親クラブ等の地域組織活動を活用することのメリット

- 児童館職員の数は限られるため、事業実施に当たっては回数と規模に限界があるが、地域組織活動として母親クラブと協働して事業に取り組むことにより、参加人数が多数になるなど事業規模が大きくなっても対応ができる。
- 来館者の中には、母親クラブ員と顔見知りの方が多く、母親クラブ員が児童館に居ることにより、来館者と児童館職員のコミュニケーションがとりやすくなっている。
- 丹南児童館は、篠山市の西部にあり児童数の多い校区に位置し、利用者も多数であるものの、篠山市全体から見ると北部、南部の利用者が少ないのが現状である。母親クラブの活動をいっそう活性化していくためには、市内全域からの入会が必要と考えられる。

●母親クラブ等の地域組織活動を活用するに当たり、工夫している点、ポイント等

- 児童館事業において地域組織活動を活用するにあたり、情報の収集等を行い所属課(人権推進課)への連絡、相談、報告、情報提供等、常に協力体制を持って活動し、お互いに地域の情報を提供し共有している。
- 篠山市の月間広報誌において人形劇団「つくしんぼ」の活動を紹介し、要望に応じて人形劇団「つくしんぼ」の出前講演などを実施している。
- 篠山市人権推進課の所管である児童館と母親クラブの活動を、篠山市福祉課発刊の子育てガイドブック「ささっ子 すくすくガイド」に紹介し、市民に広報している。

●母親クラブ等の地域組織活動に期待していること。

- 地域組織活動の活性化、活動の充実を図るため、新たに会員を獲得し、そのことにより地域の子育て支援に携わる人のネットワークを広げ、子育て力をアップし、継続した安定的な活動を展開してほしい。
- 地域における子育て支援を担う活動の一つとして、今後とも活動内容の充実を図るとともに、子育てに悩む母親への声かけや相談など、子育て中の親と同等の目線での取り組みに期待したい。